NEWS　RELEASE

2019 年 9 月 10 日
株式会社タカラレーベン

GRESB インフラストラクチャー評価結果に関するお知らせ

株式会社タカラレーベン（本社：東京都千代田区/代表取締役：島田和一　以下、「当社」といいます。）のグループ会社であるタカラアセットマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区/代表取締役：髙橋衛）を資産運用会社とするタカラレーベン・インフラ投資法人（以下、「本投資法人」といいます。）は、2019 年に実施された GRESB インフラストラクチャー・アセット評価に参加し、アセット評価とファンド評価の両方でグローバル相対評価による「GRESB レーティング」において「4 Stars」（最高位は 5 Stars）の評価を取得いたしましたのでお知らせいたします。

■評価結果について

GRESB インフラストラクチャー・アセット評価において、本投資法人が保有するインフラ資産およびそのオペレーターとしての当社の「リスクと機会」及び「ステークホルダーとの関係構築」の取り組みが特に高く評価された結果、本投資法人のポートフォリオ資産が属する「太陽光発電」ピアグループのアジア 6 アセット中 1 位の評価を取得いたしました。

また本投資法人が参加した GRESB インフラストラクチャー・ファンド評価においても「4 Stars」（最高位は 5 Stars）の評価を取得し、さらに「アジア地域」における「Sector Leader」に選出されました。

詳細な情報につきましては、下記のリンクから本投資法人が発行したプレスリリースをご覧ください。

タカラレーベン・インフラ投資法人のプレスリリースはこちら
http://tif9281.co.jp/wp-content/uploads/2019/09/info-1q0Uj4IITyliyADP.pdf

■GRESB インフラストラクチャー評価の概要

GRESB は、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設された、実物資産（不動産やインフラ施設など）ポートフォリオの環境・社会・ガバナンス（以下「ESG」といいます。）パフォーマンスを測るベンチマークおよびその運営組織の名称です。2019 年 9 月現在、運用資産計 22 兆米国ドル以上、100 社を越える機関投資家が GRESB に加盟し投資運用プロセスにおける投資先選定や投資先との対話に GRESB データを活用しています。

GRESB インフラストラクチャーは 2016 年に創設された、インフラファンドを対象とする「ファンド評価」と、ファンドの投資先となるインフラ資産やその運営会社を対象とする「アセット評価」の 2 種から構成される ESG パフォーマンスを測るベンチマークです。2019 年は世界各国の計 107 ファンド、393 アセットが GRESB インフラストラクチャー評価に参加しました。

GRESB と GRESB インフラストラクチャー評価についての詳しい情報は、GRESB のウェブサイト https://gresb.com/をご参照ください。

■会社概要

商　　号 ： 株式会社タカラレーベン
代 表 者 ： 代表取締役　島田　和一
所 在 地 ： 〒100-0005　東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F
設　　立 ： 1972 年 9 月
事 業 内 容 ： 自社マンションブランド「レーベン」並びに都市型コンパクトマンション「ネベル」シリーズの開発・企画・販売
資 本 金 ： 4,819 百万円
U R L ： https://www.leben.co.jp/

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】
株式会社タカラレーベン
経営企画部　グループ戦略課
担当： 元野
Tel：03-6551-2130